



香港日本人学校小学部  
香港校だより  
2017年8月21日  
平成27年度派遣 村上 大



## ネイハウ 你好

連日、日本の猛暑のニュースを耳にしますが、香港も暑いです。昨年度のレポートにも書きましたが、今年の香港もとにかく暑い夏です。鳥取でも37℃を超えたという情報をインターネットで目にしましたが、香港の気候は、首周りや背中がじっとりとするような湿度に覆われた、まさに watery で humid な蒸し暑さです。



さて、香港日本人学校小学部香港校への在外教育施設派遣も3年目を迎えています。3年連続の6年生担任として、派遣最後の年度を充実したものにしようと臨んだ1学期はあっという間に過ぎていきました。その中でも特に大きな出来事と言え



ば、来年度の小学部・中学部との学校統合が決定したことです。中学部校舎の老朽化に伴い、小学部との校舎統合を行うことになったのですが、児童のいない夏休み中に、オープンスペースだった場所を教室に改造する工事が進められています。

また来年度に向けて、施設環境面だけではなく、学校行事や教育課程についても検討していくための「タスクフォース委員会」が立ち上げられました。早速、今年10月に行われる運動会については、中学部との合同実施の方向で検討されており、私も小学部体育主任として、中学部体育教員との連携を図りながら計画を行っている最中です。

## 熱中症予防教室

湿度が高く熱帯性気候の香港では、熱中症対策に特に配慮しながら学校生活を送っています。7月18日(火)には、香港大塚製薬の中村省吾さんを講師にお迎えして、熱中症予防教室を行いました。(中村さんは、香港校の卒業生です。我が子がお世話になっている地元バスケットボールのクラブチームでお会いしたことがきっかけとなり、この3年間、毎年熱中症予防教室の講師として来校していただいています。)

人間の体内の約65%が水分であること、炎天下で2時間、ランニングなどの陸上運動をすると、2.7リットルもの水分が失われることなどを、スライドで説明していただきました。

熱中症の主な症状について学んだ後、熱中症予備軍の人は、手の甲をつまんだときにできる「しわ」で判断できることを教えてもらいました。熱中症になると水分量が減っているので「しわ」がなかなか元に戻



らないことを知り、子どもたちは、「自分は大丈夫かな」とみんなが自分の手の甲をつまんで実験をしていました。

## 慶祝香港回歸祖國20周年～You raise me up concert～

### 和太鼓クラブの熱演

今年は、イギリスから香港が中国に返還されて20年目の年に当たります。7月2日（日）には、習近平国家主席も来港される中、エリザベス体育館で灣仔地区香港返還20周年を祝う祝典が開催されました。灣仔地区にある学校の児童生徒や園児が、太極拳や民族舞踊など、中国の伝統舞踊を披露するなかで、香港校の児童は、堂々と力強い和太鼓演奏を披露し、会場からは大きな拍手が送られました。



新年度になり、4・5・6年生の新メンバーで活動を始めた和太鼓クラブですが、子どもたちは休み時間にも一生懸命練習に励んでいました。昨年度、本校の創立50周年記念式典を行った時と同じ会場だったこともあり、自信をもって披露できたのではないかと思います。素晴らしい演奏でした。

### 避難訓練、教員の緊急時対応研修

香港特別行政区成立記念日である7月1日には、例年、香港の民主化を訴える活動が行われ、ピクトリアパークや政府総部を始めとする灣仔地区等では、デモ行進や集会が行われます。今年は、返還20周年の節目の年でもあり、習近平国家主席の訪問もあり、香港警察は警備を強化していました。また、在香港日本国総領事館からも、「不測の事態に巻き込まれないために、デモや集会に絶対に近づかないように注意し、デモ隊や群衆に遭遇した場合には直ちにその場から離れて安全な場所へ退避するよう努めるように」との勧告メールが学校の私個人宛のアドレスにも送られてきました。



私が赴任してから、この2年間は児童の通学や生活において特別に支障を来すような事態は幸いにも起こっていませんが、赴任する前年度には、民主化デモのため通学バスが通常ルートを通ることができず、休校になったこともありました。不測の事態に対応するため、香港校では、年4回の避難訓練を実施しています。5月には、学校外で暴徒が出現した場合の基本行動の訓練を行いました。今回は、外で対応班の教員が不審者の侵入を防いでいる間に、各教室から物音を立てずに体育館に避難する訓練でした。

当日は、在日本国総領事館から児童の避難の様子を視察に来られていましたが、落ち着いて静かに行動する児童の様子にとっても感心されていました。火災時も放送や教職員の指示をしっかりと聞いて落ち着いて行動することを心掛けるとともに、日本全国に広がっている防犯標語「いか・の・お・す・し」についても全校児童で確かめ合うことによって、自分の命は自分で守ること

の大切さを学ぶことができたと思います。

また、新学期には全教職員研修として救命救急講習を行い、AEDを使った心肺蘇生法の実技研修、灣仔消防署の指導の下で消火栓操作やCO2 消化器を使った初期消火活動の研修も行っています。